

救急 ・ 救助

一 目 統 計

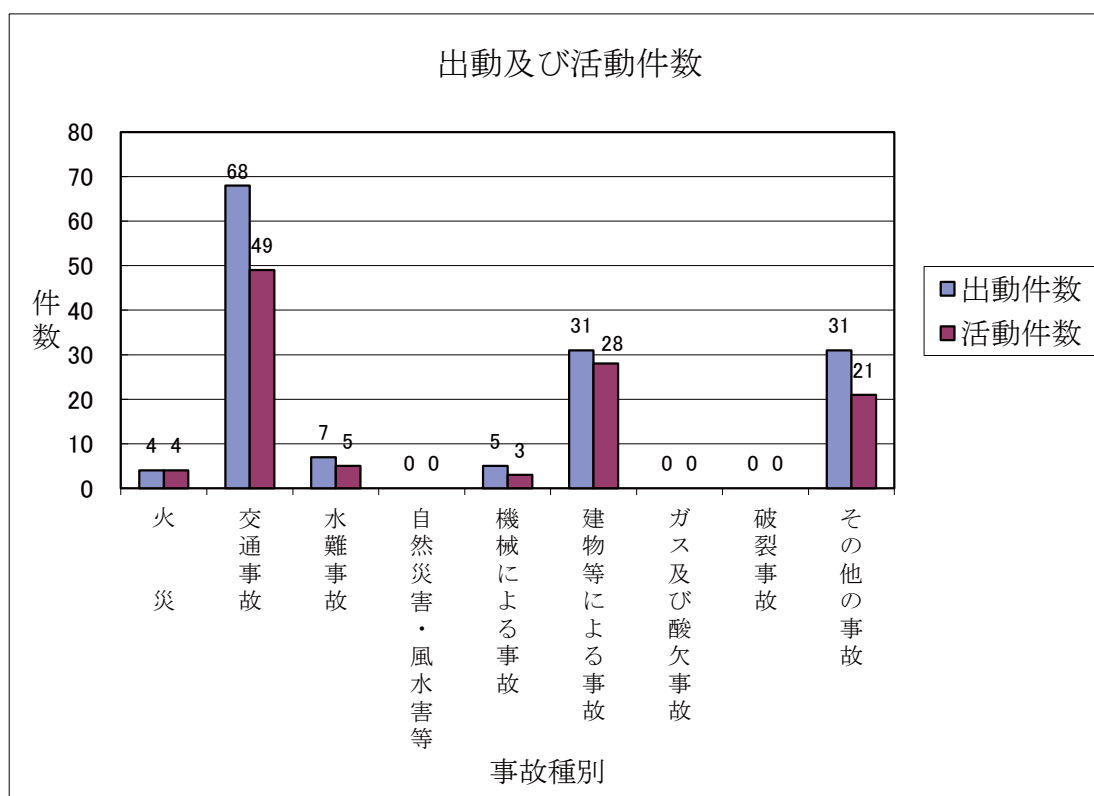
平 成 2 6 年 中

救 助 出 動 件 数		1 4 6 件
	(うち 高度救助隊 出動件数	9 4 件)
救 助 活 動 件 数		1 1 0 件
	(うち 高度救助隊 活動件数	4 2 件)
活 動 割 合		7 5 . 3 %
出 動 延 べ 隊 数		5 5 0 隊
救 助 人 員		1 0 7 人
1 日あたりの平均出動件数		0 . 4 件
活動 1 回あたりの平均救助人員		0 . 9 7 人
出 動 件 数 の 多 か っ た 月	2 月	2 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 月	4 月	4 件
出 動 件 数 の 多 っ た 曜 日	月曜日	3 0 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 曜 日	土曜日	1 3 件
出 動 件 数 の 多 っ た 地 区	日永地区	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 地 区	朝日町	0 件
出 動 件 数 の 多 っ た 時 間 帯	8 時～9 時	1 2 件
出 動 件 数 の 少 な っ た 時 間 帯	0 時～1 時、1 時～2 時	1 件
出 動 の 多 っ た 事 故 種 別	交通事故	6 8 件
出 動 件 数 の 1 番 多 っ た 日	1 月 1 4 日	3 件

救出・救助活動状況

(平成26年中)

	火災	交通事故	水難事故	自然災害・風水害等	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
出動件数	4	68	7	0	5	31	0	0	31	146
出動隊数	33	270	50	0	21	77	0	0	99	550
出動延べ人員	118	985	137	0	78	278	0	0	362	1,958
活動件数	4	49	5	0	3	28	0	0	21	110
救助人員	1	52	5	0	3	26	0	0	20	107



水難救助隊の災害出動概要

四日市港内、河川などで発生する乗用車の転落、レジャー中の事故等、早期に救助の必要がある水難救助事案に対応するため、平成15年4月に「水難救助隊」が発足し、平成27年4月1日現在、20名の水難救助隊員で活動しています。

水難救助隊は、水中での困難な救助活動を円滑に遂行するため、「潜水」という特殊技能を身に付け、更なる水難救助の知識・技術の向上を目指して日々錬成訓練を実施しています。

水難救助隊の出動回数及び訓練・研修回数

年 別	月別 種別	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
22 年 中	災害出動 水難救助	8		2		1		1		2		1	1	
	水難訓練	30	2	1	2		3	3	5	3	4	4	2	1
	新人研修	18						3	2	2	2	2	5	2
23 年 中	災害出動 水難救助	5		1		1	1			2				
	水難訓練	37	1	2	2		3	3	5	6	4	7	3	1
	新人研修	23	2	1	1			5		2	2	4	4	2
24 年 中	災害出動 水難救助	7	1	1					2	1		2		
	水難訓練	41	1	1	3	3	3	3	7	5	4	8	3	1
	新人研修	28	2	2	2			5	3	3	3	2	4	2
25 年 中	災害出動 水難救助	10	0	0	0	1	2	1	3	1	0	1	1	0
	水難訓練	33	1	1	3	3	3	3	4	6	3	3	2	1
	新人研修	25	2	2	2	0	0	5	2	2	2	2	4	2
26 年 中	災害出動 水難救助	7	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	水難訓練	29	1	1	3	1	4	3	2	4	3	3	2	2
	新人研修	24	2	2	2	0	0	4	2	2	2	2	4	2

一 目 統 計

平成26年中

救 急 出 動 件 数		14,307件
搬 送 件 数		12,364件
不 搬 送 件 数		1,943件
搬 送 人 員		12,543人
	男	6,745人
	女	5,798人
一日あたりの平均出動件数		39.2件
一日あたりの平均搬送人員		34.4人
救急告示医療機関数		12施設
	四日市市消防本部管内 (四日市市、三重郡川越町、朝日町)	
出動件数の多かった月	12月	1,379件
出動件数の少なかった月	6月	1,077件
出動件数の多かった曜日	月曜日	2,192件
出動件数の少なかった曜日	木曜日	1,969件
出動件数の多かった地区	常磐地区	1,316件
出動件数の少なかった地区	同和地区	38件
出動件数の多かった時間帯	9時～10時	886件
出動件数の少なかった時間帯	3時～4時	269件
出動の多かった事故種別	急病	9,338件
出動件数の一番多かった日	12月27日	67件
出動件数の一番少なかった日	9月11日	16件

平成26年中の救急業務の概要

平成26年中の救急出動件数は14,307件で、前年に比べ135件の減少となりました。また、搬送人員は12,543人で前年と比べ378人の減少となりました。

救急出動件数を事故種別構成比で見ると、「急病」が9,338件(65.3%)で最も多く、続いて「一般負傷」が1,786件(12.5%)、「交通事故」が1,604件(11.2%)、「転院搬送」が973件(6.8%)となりました。「急病」は昭和47年以降から毎年連続して事故種別のトップを占めております。

救急車の利用状況については、管内の住民約23人に1人が救急車を利用したことになり、1日あたり、39.2件出動したことになっています。

以下に救急搬送した傷病者について、『年齢層別』『傷病程度別』『地区別』などの観点から眺めた特徴的な傾向について示します。

『年齢層別』の傾向については、前年と比較して「新生児」は増加していますが、「高齢者」「成人」「少年」「乳幼児」は減少しています。「高齢者」の搬送比率は54.7%となっており、年々増加しています。

『傷病程度別』の傾向については、「軽症」の割合が一番多く、その比率は61.5%となっています。前年と比較し、「重症」の比率は増加していますが、「中等症」、「軽症」、「その他」の比率は減少しています。

『地区別』の傾向については、「常磐」「日永」「三重」「四郷」の各地区が救急需要の多い4地区となっています。これらの地区は人口も多い地区であることから必然的に救急需要が多くなっています。

このように、増加し続ける救急需要に対して、本市では、3消防署に5台の救急車を、また中央地域、西部地域、北西地域、西南地域と消防事務を受託している朝日町・川越町地域にそれぞれ1台ずつ、計10台の救急車を配置しています。

今後も都市整備や救急需要の動向などを踏まえて、署所配置などの検討を行いながら、“5分救急”施策の実現を目指します。

◎ 現場到着時間(出動指令から現場到着までの平均時間)

年 中	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
現場到着時間	5分45秒	5分42秒	5分49秒	5分52秒	5分54秒

◎ 医療機関到着時間(出動指令から医療機関到着までの平均時間)

年 中	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
医療機関到着時間	28分12秒	28分42秒	29分27秒	30分24秒	31分36秒

また、全ての救急車に少なくとも1名以上の救急救命士を配置できるよう、救急救命士の養成を継続していきます。

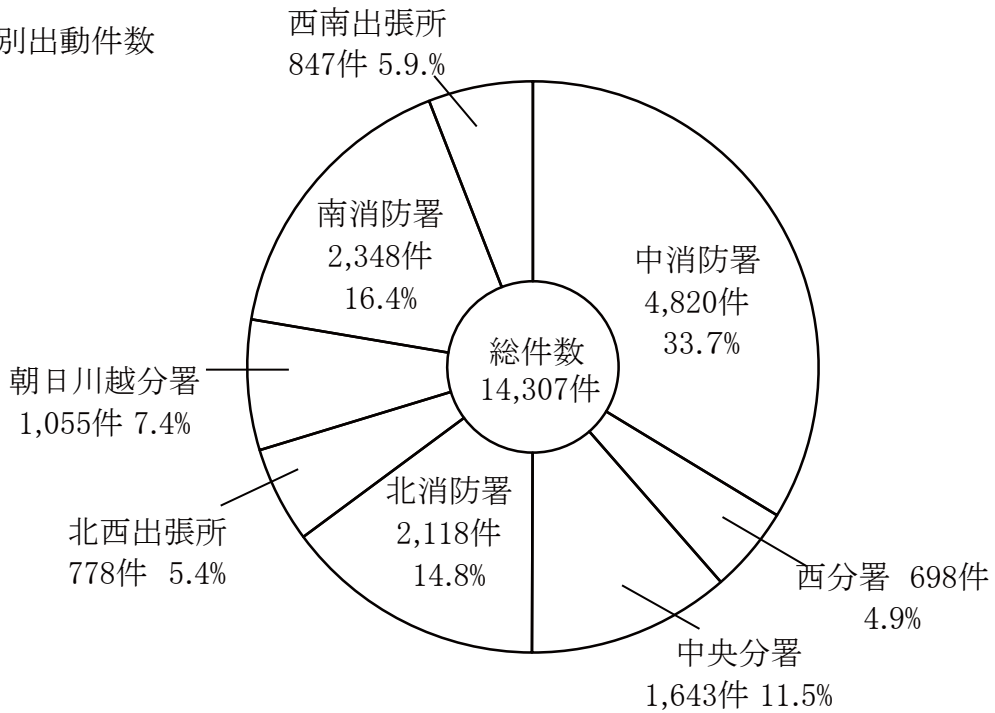
加えて、平成27年4月現在、市内の公的施設にAED(自動体外式除細動器)が218台配備され、さらに一般事業所等への設置も進んでおり、それらの事業所等で勤務する職員に対するAEDの取扱いを含めた応急手当講習を計画的に進めていきます。

救急概要

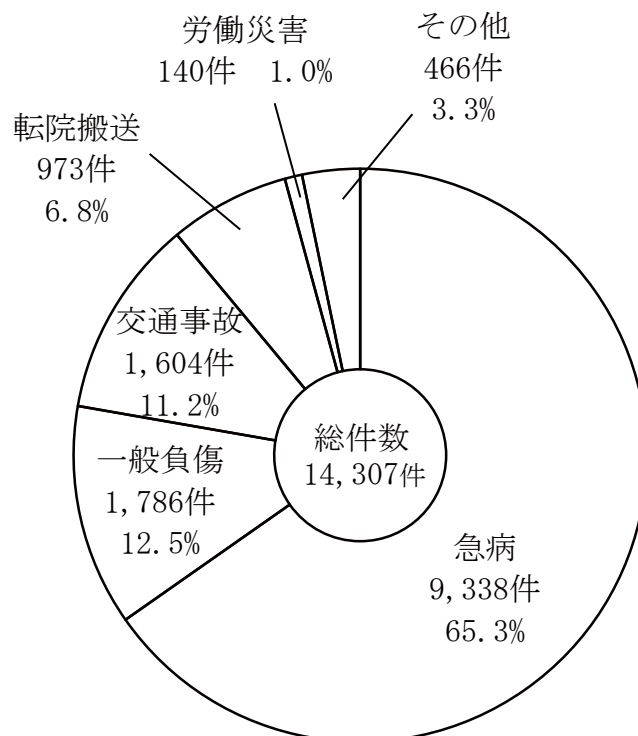
(平成26年中)

区分	件数・人員	一日平均
救急出動件数	14,307件	39.2件
搬送件数	12,364件	33.9件
搬送人員	12,543人	34.4人

救急隊別出動件数



事故別出動件数



救急発生状況比較

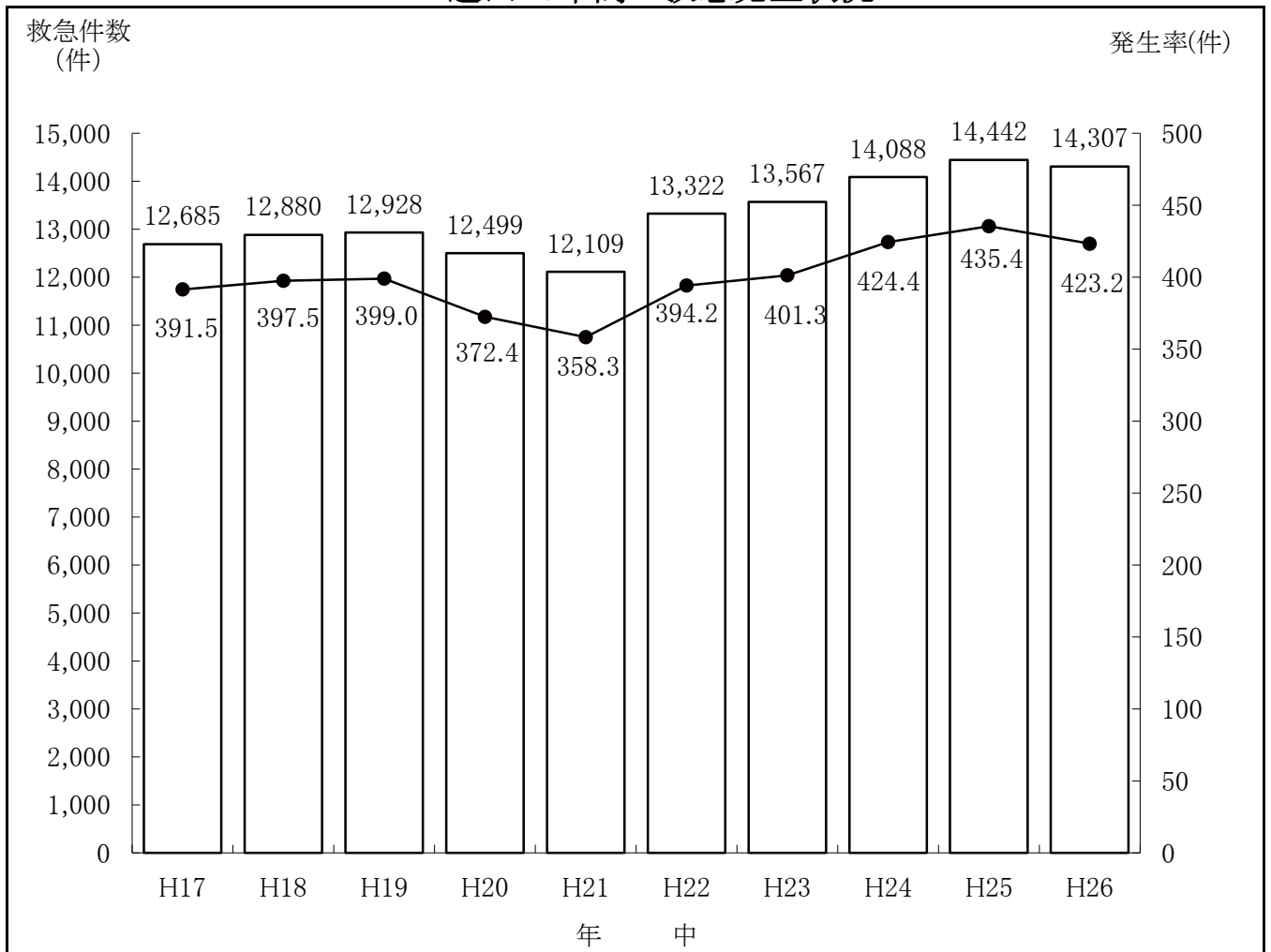
区 分		年 別				
		平成22年中	平成23年中	平成24年中	平成25年中	平成26年中
全 国	救急件数	5,463,682件	5,707,655件	5,802,455件	5,909,367件	未確定
	発生率	427.0件	446.1件	453.5件	461.8件	未確定
三重県	救急件数	78,971件	83,223件	87,076件	90,560件	未確定
	発生率	425.8件	448.7件	469.5件	488.3件	未確定
四日市市 (朝日、川越町舎)	救急件数	13,322件	13,567件	14,088件	14,442件	14,307件
	発生率	394.2件	401.3件	424.4件	435.4件	423.2件

※救急自動車による救急出動件数

$$\text{発生率} = \frac{\text{救急件数}}{\text{人 口}} \times 10,000$$

(人口1万人あたりの発生件数)

過去10年間の救急発生状況



平成26年

地区別救急出場状況

地区別		区分		出場件数		搬送件数		搬送人員	
		合計							
		14,307 件	100 %	12,364 件	100 %	12,543 件	100 %		
中 消 防 署	小計	6,229	43.54	5,235	42.34	5,295	42.21		
	共同	678	4.74	506	4.09	516	4.11		
	同和	38	0.27	35	0.28	35	0.28		
	中央	127	0.89	110	0.89	110	0.88		
	港	141	0.99	126	1.02	126	1.00		
	浜田	763	5.33	589	4.76	602	4.80		
	橋北	374	2.61	300	2.43	301	2.40		
	海蔵	459	3.21	386	3.12	389	3.10		
	常磐	1,316	9.20	1,108	8.96	1,114	8.88		
	川島	319	2.23	288	2.33	291	2.32		
	神前	320	2.24	286	2.31	295	2.35		
	桜 県	538	3.76	467	3.78	469	3.74		
	三重	211	1.47	192	1.55	197	1.57		
	三 重	945	6.61	842	6.81	850	6.78		
北 消 防 署	小計	3,217	22.49	2,857	23.11	2,888	23.02		
	羽津	670	4.68	589	4.76	602	4.80		
	富田	617	4.31	552	4.46	554	4.42		
	富洲原	420	2.94	355	2.87	359	2.86		
	大矢知	552	3.86	504	4.08	505	4.03		
	八郷	438	3.06	388	3.14	394	3.14		
	下野	314	2.19	285	2.31	290	2.31		
	保々	206	1.44	184	1.49	184	1.47		
南 消 防 署	小計	3,814	26.66	3,362	27.19	3,414	27.22		
	塩浜	404	2.82	352	2.85	361	2.88		
	日永	1,029	7.19	893	7.22	913	7.28		
	四郷	862	6.03	759	6.14	769	6.13		
	内部	546	3.82	469	3.79	472	3.76		
	河原田	210	1.47	183	1.48	186	1.48		
	小山田	203	1.42	189	1.53	192	1.53		
	水沢 楠	130	0.91	118	0.95	118	0.94		
	430	3.01	399	3.23	403	3.21			
高速自動車道		81	0.57	66	0.53	81	0.65		
市 外	小計	966	6.75	844	6.83	865	6.90		
	朝日町	340	2.38	297	2.40	303	2.42		
	川越町	614	4.29	535	4.33	550	4.38		
	その他	12	0.08	12	0.10	12	0.10		

平成26年

月 別 救 急 出 場 状 況

事故別	区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		合計												
合計	出場件数	14,307	1,251	1,159	1,173	1,116	1,118	1,077	1,303	1,253	1,125	1,186	1,167	1,379
	搬送人員	12,543	1,138	1,015	1,026	1,004	986	937	1,146	1,109	971	1,012	1,029	1,170
火災	出場件数	64	13	5	5	4	6	7	5	5	3	3	3	5
	搬送人員	26	19	1	1	0	2	0	1	1	0	0	0	1
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	出場件数	7	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
	搬送人員	5	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
交通	出場件数	1,604	105	132	147	131	122	141	141	116	131	153	131	154
	搬送人員	1,551	107	120	140	128	114	136	148	126	120	139	129	144
労働災害	出場件数	140	10	7	11	12	7	12	13	12	11	10	13	22
	搬送人員	134	10	6	11	11	7	12	13	12	11	10	13	18
運動競技	出場件数	105	4	9	6	7	16	10	11	6	6	8	17	5
	搬送人員	102	3	9	4	7	16	9	11	6	6	9	17	5
一般負傷	出場件数	1,786	151	142	118	143	155	120	146	145	153	167	158	188
	搬送人員	1,593	144	128	107	133	130	106	123	123	141	149	146	163
加害	出場件数	98	8	11	10	10	6	6	7	7	7	7	6	13
	搬送人員	74	7	11	9	7	4	4	4	5	4	6	4	9
自損行為	出場件数	128	8	19	16	8	11	6	10	12	11	9	6	12
	搬送人員	59	3	12	10	4	5	4	4	4	4	4	1	4
急病	出場件数	9,338	865	747	785	725	705	707	903	846	699	707	753	896
	搬送人員	8,019	760	644	672	637	620	598	775	739	595	583	648	748
転院搬送	出場件数	973	83	83	70	75	88	68	65	92	90	111	72	76
	搬送人員	971	83	83	70	75	88	68	65	91	90	112	70	76
その他	出場件数	64	2	3	5	1	2	0	1	11	14	11	7	7
	搬送人員	9	0	1	2	2	0	0	2	1	0	0	0	1

応急手当の普及計画

大切な人の命は、救急隊が到着するまでの間に、傷病者の近くに居合わせた住民の方が適切な応急手当を実施することによって、救われるものといっても過言ではありません。

本市では、平成6年から本格的に住民に対する応急手当の普及啓発活動を開始し、各自治会や各種団体を対象にした普通救命講習や上級救命講習などを年間約340回程度開催しています。

また、毎月第2土曜日に一般公募による定期普通救命講習を開催し、個人での受講希望者への対応も行っています。さらに事業所や各種団体等において、応急手当の普及啓発活動の中心的な役割を担ってもらえるよう、指導者養成コースである普及員講習や指導員講習なども計画的に開催しており、現在、管内には約1,500名の応急手当普及員及び指導者がいます。

なお、平成26年中の心肺停止傷病者に対する家族等による応急手当実施率は42.2%となっています。

応急手当普及啓発活動の状況

○普通救命講習の実績 (270回) 4,596人 (平成26年中)

講習 実施 月	講習 回数	男女別		修了 者数 合計	消 防 防 災 団 隊	自 治 会	公 務 員	P T A	事 業 所 等	福 祉 関 係	学 校 関 係	そ の 他 (定期 含む)
		男	女									
合 計	270	2689	1907	4596	297	252	241	770	1853	257	478	448
1 月	13	106	74	180	45	0	8	0	74	11	16	26
2 月	15	117	158	275	51	0	0	59	87	0	0	78
3 月	23	407	85	492	0	0	9	0	438	21	0	24
4 月	17	137	44	181	1	0	0	0	126	46	0	8
5 月	32	269	155	424	28	19	0	40	179	35	97	26
6 月	53	401	638	1039	60	79	0	502	236	59	28	75
7 月	31	324	413	737	17	78	78	169	72	0	258	65
8 月	11	106	73	179	4	0	0	0	96	12	44	23
9 月	23	280	93	373	0	15	0	0	257	24	7	70
10月	23	200	61	261	27	0	40	0	131	31	1	31
11月	19	236	60	296	33	61	106	0	69	0	27	0
12月	10	106	53	159	31	0	0	0	88	18	0	22

※ 応急手当普及員にて94回実施、受講者1,340人含む。

○上級救命講習の実績

一般公募・学校関係・事業所等	実施回数 7回 170名(男68名・女102名)
----------------	-----------------------------

○応急手当指導員講習の実績

消防団員・消防職員	新規講習 4回・再講習 9回 288名(男276名・女12名)
-----------	------------------------------------

○応急手当普及員講習の実績

事業所・市職員・教職員・一般公募等	新規講習 3回・再講習 10回 251名(男179名・女72名)
-------------------	-------------------------------------

○救命入門コース(90分)の実績：時間的な制約や年齢により、従来型の講習への参加が難しい市民を対象に、平成24年4月1日から実施。併せて普通救命講習へ繋げるための講習とする。

一般・学校関係・事業所等	実施回数 31回 701名(男215名・女486名)
--------------	-------------------------------

心肺機能停止傷病者の救命率

◎ 救命率とは、救急搬送した心肺停止傷病者の1ヵ月後の生存率です。
ただし、調査の条件としては、心臓に原因があり、かつ一般市民等により心肺機能停止の時点が目撃された傷病者を対象としています。

年別	区 分	四日市市 (朝日、川越町含む)	全 国
平成 22 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	342人	123,095人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	71人	22,463人
	1ヵ月後の生存者数	9人	2,561人
	救命率	12.7%	11.4%
平成 23 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	322人	127,109人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	74人	23,296人
	1ヵ月後の生存者数	14人	2,655人
	救命率	18.9%	11.4%
平成 24 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	268人	127,866人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	65人	23,797人
	1ヵ月後の生存者数	5人	2,736人
	救命率	7.7%	11.5%
平成 25 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	312人	123,987人
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	94人	25,469人
	1ヵ月後の生存者数	14人	3,035人
	救命率	14.9%	11.9%
平成 26 年	救急隊が搬送した 全ての心肺停止傷病者数	282人	未確定
	心臓に原因があるもので 一般市民に目撃された傷病者数	80人	未確定
	1ヵ月後の生存者数	12人	未確定
	救命率	15.0%	未確定

$$\text{※救命率} = \frac{\text{1ヵ月後の生存者数}}{\text{心臓に原因があるもので一般市民に目撃された傷病者数}}$$